

4日、当地に進出している日系企業の工場に対する武装強盗事件が発生しました。同社の関係者より確認した事件概要を以下の通り共有させていただきます。

1 発生日時：4日（日）午前4時頃

2 発生場所：ファゼンダ・リオグランデ市工業団地地区

3 事件概要：

（1）ライフル等の火器で重武装した8名程度の強盗集団が同工場に来襲し、警備員の武装解除のうえ、正面から工場敷地内へ侵入し、ATMまで連れていくよう要求した。

（2）警備員は敷地内にATMが無い事を伝えたが、そのまま連行され、強盗団は食堂近辺まで侵入した。しかし、実際に敷地内にATMが無い事が分かり、午前4：12に強盗団は逃走した。強盗団は逃走する際、警備員1名を人質にとり連れ去ったが、同工場から800m離れた地点で解放した。

（3）強盗団が逃走した直後に、警備員が警察に通報し、午前5：15～5：30頃警察が到着。事情聴取と監視カメラの映像提供含め、現場確認を実施した。

（4）本件により警備員の拳銃3丁を奪われた他は、人的被害、生産設備等含む物的被害はなかった。

4 現場の警備員のコメント・気づきの点

（1）強盗団は火器の取扱いにも慣れ、また覆面姿で静かに事を進め、個人特定できるような動きは一切無いなど、プロの犯行と断定できる。あくまでも金銭目当てのため、抵抗等が無ければ、積極的に人や物を傷つけるような動きは無かった。

（2）敷地内にATMが設置されたもしくは現金輸送車が入って行ったという情報を持っていたと思われる（当館注：同工場内に設置の計画は実際あるが、まだ実行に至っていない）。

（3）近隣の他社で武装強盗団により、敷地内ATMが爆破され、内部の現金が奪われるなどの事例が過去に起きている。

（4）警備員は拳銃等で武装しているが、今回のような重武装かつ多人数のプロ集団に襲撃された場合は侵入を防ぐ事は困難。

<当館からのお願い>

・今回の事件はATMを狙った犯行でした。社内にATMを設置している施設は注意が必要です。

・治安当局によると、万が一強盗被害にあわれた場合は、速やかに軍警察（Policia Militar、電話番号190）に一報するとともに、被害届を最寄りの文民警察（Policia Civil、電話番号197）に提出することが事件発生現場の巡回強化や捜査

等にも繋がるため、非常に大切であるとのことです。

・また、類似被害防止のため、在留邦人等の皆様と（個人情報をふせた上で）情報を共有するためにも、当館（担当：警備班・領事班）へご連絡いただければ幸いです。